

普及センターだより

〒769-1503 香川県三豊市豊中町笠田竹田438-1

TEL. 0875-62-3075 FAX. 0875-62-5353

E-mail. seisannokai@pref.kagawa.lg.jp

西讃普及センター

検索

URL <http://www.pref.kagawa.jp/seisannokai/index.htm>発行日
2022.1.1

第170号

西讃地域の多様な担い手紹介シリーズ②4

～集落営農組織紹介～

地域が一致協力して農業の維持・発展を目指す！

～三豊市財田町で新たな営農組合が発足～



「入樋営農組合」 創立総会

松浦嘉則 組合長

入樋営農組合（三豊市財田町）



入樋（いるひ）営農組合は、三豊市財田町財田中地区において、農業機械の共同利用などの活動を中心に設立された集落営農組織です。

同地区では、平成12年から中山間地域等直接支払制度を、平成26年から多面的機能支払交付金を活用して、水路改修や草刈作業を行うほか、最近では、ドローン防除の取りまとめなどの地域活動に取り組んできました。

これまで、会合や共同作業の機会を活用して、農地利用の調整を行うなど、耕作放棄地が発生しないようにしてきましたが、今後、高齢化で農作業が困難となる農業者が増えると予想されることから、農業機械の効率的な利用や新たな地域の担い手育成を行うため、営農組織を立ち上げようと機運が高まり、令和3年9月12日に20戸の農家で営農組合を設立しました。

松浦嘉則組合長は、「これから農業は、機械の共同利用などを、地域が協力して進めていく必要がある。まずは、受皿となる組織を発足させることができた。今後は組合員の協力のもと、地域農業の維持・発展を目指したい。」と抱負を語ってくれました。

農業経営の円滑な継承に向けて ～経営を引き継ぐための準備をはじめてますか?～

経営継承には

農業経営の継承には、土地や施設・機械などの「目に見える資産（人・資産）」の継承」と、「目に見えない資産（知的資産）の継承」があります。

さらに、円滑に継承するためには、後継者の育成も必要です。計画的に時間をかけて取り組みましょう。



経営継承のステップ

準備段階

- 1 経営継承の必要性の確認
- 2 経営状況・資産の把握
- 3 後継者の選定・育成

経営継承に 向けた計画 の策定

- 4 経営継承計画の策定

経営継承の 実行

- 5 経営継承計画の実行

●同居の親族に継承する場合の例

- ◎経営継承の進め方について
第三者（関係機関、税理士等）に相談
- ◎現経営者と後継者が話し合いを繰り返し、継承後の方向性を検討
- ◎話し合いの結果を書面化

◎経営継承計画の内容

- ・有形・無形の経営資産
- ・後継者への権限移譲のスケジュールや世代交代の時期
- ・規模拡大や新規作物導入の予定など

◎資産の引継ぎ

農地：相続時精算課税により後継者に贈与

機械・施設：使用貸借契約を締結

- ◎計画に基づき継承を進め世代交代時に各種名義を後継者に変更

農林水産省の 経営継承ホームページ

経営継承に関して、支援事業や相談所などの情報が掲載されています。

農水省 経営継承



また、「経営継承計画シート」（右側）もExcel形式で掲載されていますので、活用してはいかがでしょうか。

経営継承計画シートのURL

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/attach/xls/keieikeisyo-1.xlsx>

※画像はイメージです。

経営継承計画シート

会社名 株式会社 農業経営継承(農業生産法人、作目 野菜)							
現経営者	農業 太郎	年齢	55	項目	現在	1年目	2年目
				事	売上高	3億	→ 4億
				業	経常利益	3000万	→ 4000万
				計	●経営戦略会議設立		
				社内イベント	●生産管理部設立		
				その他	●直売所拡大		
				現	年齢	55歳	56歳
				経	役職	代表取締役社長→	代表取締役社長→
				営	資本の継承	●農地の賃貸契約の結び直し	
				者	持株(%)	60%	●金利競争へ相談
						59.5%→59%→58.3%	
				後	年齢	35歳	36歳
					役職	生産部長→	取締役→
						副社長→	
				計画3 (6ページ)	後継者の選定	●経理・労務・社会保障関係の知識習得	
				計画7 (10ページ)	関係者への周知	●経営戦略会議・取締役会参加	
					親族 妻、息子2人、弟 →家族会議で報告(1年目)	●各部署の責任者ポストを経験	
					従業員 (社員12名)	●諸会合への参加(代行)	

メリットたくさん! WEB会議にチャレンジしませんか? ～三豊花卉部会の取り組み～



三豊花卉部会のWEB会議の配置

市場担当者

各品目の担当者4名が
それぞれのPCで参加



メイン会場(JA支店)

部会役員及び事務局が
メインPCで参加



各ほ場(4か所)

生産者がタブレット
端末を使用し栽培状況
を説明



令和3年10月15日に三豊花卉部会と(株)なにわ花いちばがWEB情報交換会を行いました。例年、同部会では、同市場を訪問して情報交換を行ってきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により実施できませんでした。令和3年度も実施困難な状況であったことから新たな取り組みとして、WEB会議を開催することにしました。

会議では、市場の担当者とJA香川県仁尾町支店の会議室をはじめ、4台のタブレット端末を使用し、今後出荷されるマーガレットやラナンキュラス、キンギョソウ、デルフィニウムの各ほ場からも栽培状況を中継しました。

今回の開催で、メリットがたくさんあり、気軽に始められることがわかりました。1月には(株)大田花きともWEB会議を開催する計画で、これまで以上に緊密な情報交換ができるよう今後も活用していきたいと考えています。

WEB会議とは?

パソコンやスマートフォンなどのデバイスとネット環境を用いて、顔を合わせてコミュニケーションを取れるツールで、ZoomやWebexなどのWEB会議アプリを使用しています。

メリット

- ①移動時間の削減
- ②交通費の削減
- ③資料のペーパレス化
- ④現場、現物をリアルタイムで確認

旬の花が見られます! Instagramを紹介!

三豊花卉部会では、新型コロナウイルスの影響で、需要が減少している花きの消費拡大を図るため、生産者、JA三豊地区営農センター、JA仁尾中央集荷場、普及センターが連携し、Facebookページを立ち上げ運営しています。

令和3年6月からは、更に広く産地の情報を発信するため、新たにInstagramを始めました。栽培状況や出荷状況を随時更新していますので、是非チェックしてみてください。



受賞おめでとうございます

●第85回香川県畜産共進会

第4部 肉牛の部

1区(黒毛和種)農林水産大臣賞・県知事賞 安藤 勝贊 様(三豊市)

●令和3年度全国優良経営体表彰

【経営改善部門】協議会会长賞

近藤 徹 様(観音寺市)

【働き方改革部門】協議会会长賞

株式会社 Sun so 様(観音寺市)



「西讃農業者クラブ」に加入しませんか!

「西讃農業者クラブ」には、観音寺市、三豊市の若手農業者19名（平均年齢39歳）が加入しており、①知識・技術向上のための研修活動、②交流会などの親睦活動、③消費者との交流機会を活用した農のPR活動を行っています。

コロナ禍で、こうした活動が難しい状況となりましたが、会員が研修会などへ参加しやすく、交流の機会を確保できるよう、Zoomを使って現地とオンラインを併用した研修を今年から新たに開始しました。

また、香川県全域を対象とするIFK*や中国四国地域の若手農業者が集まる連絡協議会があり、会員になると幅広い交流の機会を得ることができます。

「西讃農業者クラブ」への加入を希望される方は、事務局（普及センター扱い手部門）まで気軽にご連絡ください。



クラブ員の圃場にてオンラインを併用した研修

*IFKとは、Intelligent Farmers of Kagawaの略

女性農業者がコミュニケーションのコツを学ぶ

令和3年11月22日、女性の農業者や新規就農者を対象に、効果的なコミュニケーションで、円滑な人間関係を築いてもらうことを目的とした「アグリレディスキルアップ研修会」を開催しました。

当日はオンラインで、ライフデザインパートナーズ株式会社の浅川智仁氏を講師に招き、「相手に好印象を与える会話のコツ」や「プラス思考となる質問」などを、講義とグループワークを交えながら学びました。

また、講演後には、講演で学んだ会話の「3つのコツ」を実践しながら、将来の目標や日頃の悩みについての意見交換を行いました。参加者は、「これからは、自分自身に力を与える質問を心掛けたい。」、「会話のコツを家庭で実践したい。」、「同じ立場の女性農業者と交流でき、元気をもらった。」など、意見が尽きず時間を超過するほど盛況となりました。



アグリレディスキルアップ研修